






小中一貫教育だより

# 「つなぐ」

～中学校区の実態に応じた取組を求めて～

-  目標をつなぐ
  -  カリキュラムをつなぐ
  -  子どもの心をつなぐ
  -  教職員の意識をつなぐ
  -  家庭・地域の絆をつなぐ
- 「小中一貫教育！」



令和5年度 No.8 (2023.11.22)  
担当：熊本市教育委員会事務局  
学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

## 特別支援学級、小中合同交流会が行われました！

モデル校の日吉中学校区で、11月2日（木）、日吉中学校を会場として、特別支援学級の小中合同交流会が開かれました。日吉小（19人）、日吉東小（20人）、日吉中（8人）の子どもたちが参加し、芋ほりやレクリエーションを通して、一緒に活動し交流を深めることができました。

### 日吉中学校区（日吉小、日吉東小、日吉中）小中合同交流会の流れ

#### 1 まずは、武道場にてオリエンテーション

中学生の司会進行で、「はじめの言葉」、「芋ほりの準備」について説明がありました。

#### 2 グループごとに畑に移動

8つのグループに分かれて、グループ番号のプラカードを持った中学生が先頭に立ち、学校敷地内の芋畑まで小学生を連れて行ってくれました。

#### 3 芋ほりで交流

小学生と中学生が一緒になって協力しながら、たくさんの芋を掘り出しました。しかし、深く掘り出しにくい大きな芋は、中学生が小学生を手伝って掘り出してくれました。一輪車に3台分の収穫があり、作業後、みんな並んで記念撮影もしました。



芋ほりの様子

#### 4 再び武道場に戻り、レクリエーションで交流

まず初めに、学校ごとにみんなの前に出て、一人一人自己紹介をしました。次に、先ほどの芋ほりのグループ対抗で、伝言ゲームやジェスチャーゲームをして交流を深め、さらに仲良くなりました。最後に中学生より、「今日は楽しかったですか？ 3学期にまた会いましょう。」とあいさつがありました。

#### 5 終了後の見送り

2時間ほどの交流会が終わり、小学生はそれぞれの小学校へ徒歩で帰ります。自分たちが収穫した芋を、一人1個ずつ受け取り、さらに中学生が作った手作りのプレゼントもお土産にももらいました。中学生は校門まで出て、手を振って仲良くなった小学生を見送りました。



また会おうね！

小中一貫教育に取り組む学校の多くが、「中1ギャップ」の解消を目的として挙げていますが、そのねらいは、小学校から中学校への進学時の過度な段差をなくし、移行を円滑化することで子供の精神的・身体的負担を軽減するところにあります。このことから、**児童生徒が過ごしやすい学習環境への配慮を行うことは、小中一貫教育に取り組む多くの学校にとって基盤となっている考え方であり、特別支援教育の充実に向けた環境が醸成されやすい**ということもできます。

小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引 (mext.go.jp) 【p.86】より

Ctrl+クリックを！